

令和7年（2025年）度行政評価シート

令和 7 年 6 月 4 日

評価者	共生共創部長 能條裕子
評価者	東アジア文化都市事業担当 担当部長 能條 裕子

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 2-(2) 文化	施策の方針 2-(2)-①文化活動の支援・促進
目標とするまちの姿	鎌倉のまちがこれまで歩んできたそれぞれの時代の文化を学び、そして触れることのできる環境が整っています。市民が質の高い文化に触れ、また、文化芸術活動の推進が図られることで、市民等の自主的な文化芸術活動が日常的に展開され、新たな文化の創造・発信が常に行われています。	
主な取組	(1)アートマネジメントの充実 より多くの市民が質の高い芸術に触れる機会を提供するため、芸術文化に関する情報を収集します。また、文化施策の研究と検討、企画立案を行います。 (2)参加・鑑賞機会と場の提供 多くの市民が鎌倉の特有の文化に気軽に触れるため、芸術文化振興の拠点となる市の施設が適正に維持・管理されるとともに、文化の質的向上と豊かな市民生活に寄与する文化事業を実施し、市民の文化活動への参加・鑑賞や場の提供を行います。 (3)文化・芸術活動の発信 鎌倉ゆかりの文化芸術の功績、資料等を広く市民等へ知らせるとともに、後世に伝えます。	

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

①引き続き、所管する文化施設を指定管理制度により効果的かつ効率的に管理運営し、より多くの方に利用していただけるよう工夫する。 ②鎌倉文学館の大規模修繕については、計画通りに再開館できるよう着実に事業を進める。 ③市民の文化芸術活動を促進するため、文化芸術活動の機会の提供や支援に取り組むほか、次世代を担う子どもたちに向けて、本物の芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供する。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	517,483	460,190	544,958	597,325	707,794	
人件費	60,929	58,766	62,260	50,432	66,891	
総事業費	578,412	518,956	607,218	647,757	774,685	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	共生-23	文化行政推進事業		12,513	17,370	29,883	現状維持	A	現状維持
	共生-24	川喜多映画記念館等管理運営事業		38,277	6,292	44,569	改善・変更	A	改善・変更
	共生-25	鎌倉芸術館管理運営事業		310,648	7,768	318,416	改善・変更	A	改善・変更
重	共生-26	鎌倉芸術館大規模修繕等事業		55,967	3,146	59,113	現状維持	A	現状維持
	共生-27	美術館建設準備事業		3,651	787	4,438	現状維持	B	現状維持
	共生-28	鐙木清方記念美術館管理運営事業		61,791	6,292	68,083	改善・変更	A	改善・変更
	共生-29	文学館管理運営事業		42,824	4,753	47,577	現状維持	A	現状維持
重	共生-30	文学館大規模修繕事業		148,063	4,753	152,816	現状維持	A	現状維持
	東ア-01	東アジア文化都市事業		34,060	15,730	49,790	現状維持	B	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

共生共創部

①指定管理者制度による、所管文化施設(鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉芸術館、鎌倉市鐙木清方記念美術館)の管理運営業務を行った。
各施設ともに、来館者数増に向けて、より一層魅力的な展示の企画や各施設の連携企画(川喜多映画記念館と鐙木清方記念美術館のあじさいツアーや、鎌倉芸術館における鎌倉学として鐙木清方記念美術館の学芸員による日本画ワークショップ)を実施するなど、集客の工夫を行うよう促し、多数の参加者を得ており、新規顧客の獲得や、相互訪問による相乗効果が得られているため、イベント実施時は2館ともに令和5年度に比べ来館者数が増加した。また、芸術館では、持続可能な施設運営を行うため、適正な利用料金設定ができるように条例改正を行った。このほか、旧前田邸の管理業務を行った。

②老朽化が進む鎌倉文学館の施設・設備機能を維持し、来館者の安全を確保するとともに、歴史的な建造物の恒久的な保存を図るため、鎌倉文学館の大規模改修に係る実施設計業務を行った。

③令和6年8月16日から18日、23日、25日(一部、令和7年3月20日実施)に、鎌倉に古くから伝わる伝統芸能や文化を紹介し、次代を担う世代への興味、関心を高める機会として、市内文化施設等において伝統文化伝承事業(鎌倉彫や茶道、流鏑馬などのワークショップ)を行った。また鎌倉こども能として、子どもたちが日本の伝統芸能に関心を持つ機会を提供するため、ユネスコの世界無形文化遺産である能楽の稽古を半年以上かけて行い、その成果を、一般市民等も含めて令和7年3月16日に発表会を行った。さらに、子どもたちの文化芸術活動に対する意欲を高め、その活動を支援するため、文化・芸術分野で優秀な成績を収めた鎌倉市内在住・在学の中学生以下の個人に対して、ゆめひかる文化芸術子ども表彰を実施した。このほか、所管する収蔵美術品の適切な保管・管理を行った。

市民の文化芸術活動の発表とその鑑賞の場を提供し、鎌倉の文化の質的向上と豊かな市民生活の創造を目指し、市の主催により、市民及び鎌倉市文化協会からの推薦者によって構成される鎌倉市民文化祭企画運営委員会が企画・運営を担う「市民文化祭」を開催した。

また、鎌倉市の文化芸術活動を支え、発展させてきた鎌倉市文化協会の創立60周年を記念して「60周年フェスティバル」を共催により開催し、文化協会の普及発展及び市民の文化振興を支援した。

※実施できなかった事業とその理由

東アジア文化都市事業担当

①事業の効果的かつ円滑な運営を目的として、関連団体及び関係行政機関で構成する東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会を組織し、中国(マカオ特別行政区・湖州市)との交流事業のほか、特別事業の実施内容の検討や広報プロモーションを実施した。

※実施できなかった事業とその理由

5. 成果指標

①: 成果指標

成果指標①		「文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち」だと感じている市民の割合(鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典	市民アンケート調査	
初期値	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	63.2	目標値	64.0	65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	%	
		実績値	未実施	70.9	71.5	67.4	73.5			
		達成率	—	109.1%	108.3%	100.6%	108.1%		%	

成果指標②		鎌倉市民文化祭観覧者の満足度						出典	所管課調べ	
初期値		年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	-	目標値	—	—	80.0	81.0	82.0	83.0	%	市展(公募展)における満足度。新型コロナウイルス感染症感染拡大により、令和2年度全面中止、令和3年度一部中止のため、調査未実施
		実績値	未実施	未実施	95.5	92.0	92.8			
		達成率	—	—	119.4%	113.6%	113.2%		%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

共生共創部

・鎌倉市民文化祭は、長年にわたり、多くの市民や団体(文化協会、鎌倉市芸術文化振興財団等)と連携・協力して文化活動の取組を実施している。また、観覧者の満足度向上を目指して、令和6年度からは書道展で子ども部門の展示を開始するなど、新たな試みも行いながら取り組んでいることから、観覧者の高い満足度を維持できている。

・また、指定管理者制度により所管する各施設の管理運営に関して、建物や設備の修繕等を実施し、適切な維持保全に努めたことにより、市民の文化活動への支援・促進に繋がったことから、本市が文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまちであるとの認識が市民に浸透しており、目標値を達成したと考える。

東アジア文化都市事業担当

・東アジア文化都市事業の認知度が低い状態であるため、さらなる広報周知に努める必要がある。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

共生共創部

・文化行政推進事業は、市民文化祭の継続的な実施や文化協会創立60周年フェスティバルを実施したことで市民へ文化芸術活動の機会の提供や支援を行ったほか、伝統文化伝承事業や鎌倉こども能等を実施したことにより、次世代を担う子どもたちへ本物の芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供するなど、世代を問わず市民の芸術文化活動の質的向上に寄与したと考えられることから、貢献度はAとした。

・各文化施設の管理運営事業は、それぞれの指定管理者の専門性を活かした企画展等を行うだけでなく、近隣施設とのコラボレーションイベントに取り組み、多くの市民に地域の歴史・文化に触れる機会を創出したほか、鎌倉芸術館では、貸館による芸術文化活動の場を提供するだけでなく、市民等による第九コンサートの実施など、市民参加型の自主事業を開催し、文化の支援及び推進に寄与したことから貢献度はAとした。

・鎌倉芸術館及び鎌倉文学館の大規模修繕事業は、老朽化が進み不具合が生じている箇所を計画的に修繕したことで、利用者の安全かつ快適な施設利用の実現に寄与したことから貢献度はAとした。

・美術館の建設に当たっては、建設適地の確保、費用の面から、(仮称)鎌倉美術館の建設が難しい状況となり、収蔵する美術品の市民等への鑑賞機会の手法を検討する必要があるため貢献度はBとした。

東アジア文化都市事業担当

・東アジア文化都市事業について、事業の効果的かつ円滑な運営を目的とした東アジア文化都市2025鎌倉市実行を組織したことにより、市民が質の高い文化に触れる機会を創出する土台づくりに寄与した。

8. 今後の方向性

共生共創部

・心豊かな地域づくりの実現のため、市民が気軽に多種多様な文化に触れることができるよう、文化芸術に関する情報や活動・交流の場を引き続き提供する。
・新たな文化の創造・発信が常に行われるよう、市民等の文化芸術活動が日常的かつ主体的に展開される拠点づくりを進め、将来に向けて、新たな文化芸術活動の担い手等の発見と発掘に努める。
・鎌倉が持つ歴史や文化の素晴らしさに触れることで、市民の郷土愛(シビックプライド)や次代への継承の機運を醸成し、鎌倉の文化の持続可能性を高めていく。

東アジア文化都市事業担当

・中国・韓国との文化交流により、相互理解を促進することで、共生社会や国際平和への理解につなげていく。

9. 今年度(評価年度)の目標

共生共創部

- ①市民の文化芸術活動を促進するため、文化芸術活動の機会の提供や支援に取り組むほか、次世代を担う子どもたちに向けて、本物の芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供する。
- ②引き続き、所管する文化施設を指定管理制度により効果的かつ効率的に管理運営し、より多くの方に利用していただけるよう工夫する。
- ③鎌倉文学館の大規模修繕については、令和11年4月に再開館できるよう着実に事業を進める。

東アジア文化都市事業担当

- ①東アジア文化都市の各事業を通じ、事業の認知度を高めていくとともに、鎌倉が持つ歴史や文化の素晴らしさに触れる機会を創出する。